

大池（おおいけ）

位置図



諸元

貯水量	551.5 千m ³
満水面積	12.6 ha
受益面積	106.8 ha
堤高	13.3 m
堤長	269.8 m

国道 377 号線から市道出晴立野線を池ノ内方向へ曲がると、大池の大きな堤が右前方に現れます。大池は柞田川の支流である大池川の上流に位置し、別の名を「紀伊大池」という通り旧紀伊村一番の大池で、比較的水が溜りやすい池です。

当初は青岡原の開墾地の水源として、寛文 2 年(1662 年)に熊岡左吉右衛門によって築造されたと伝えられています。大池築造後 2 年目の寛文 4 年には丸井村の開墾が始められ、さらに延宝 9 年(1681 年)には粟井村の向本庄新田が新たに拓かれて水掛りに加えられるなど、用水の需要はますます増加したため、天明年間(1781～1788 年)には池の嵩上げ増築工事が行われました。この工事には人夫 5 万数千人を要したと伝えられています。

明治 26 年(1893 年)には堤防の老朽化が原因で突如堤が決壊し、下流の田畑を押し流しました。この年は水を溜めることができず、稲作は大きな被害を受けました。

現在に至るまで、大池は何回もの改修工事を受けながら地域の農業を支え続けてきました。先人の辛苦を偲び、大池が地域 100ha 余の農業に寄与することを祈念した大池改修記念碑が、大池の堤防の上に建立されています。



大池



大池改修記念碑